

和歌山県立 新宮高等学校同窓会報

磐 盾

第 40 号

平成25年3月1日発行

和歌山県立  
新宮高等学校  
同 窓 会

新宮市神倉三丁目2番39号

平成二十四年度

## 同窓会総会・講演会・懇親会

盛大に開催される

医学博士 湊口信也氏(二十三回卒)が記念講演



教授(新宮高校第二十三回卒業・岐阜大学医学部附属病院循環器内科第二内科・岐阜大学大学院医学系研究科循環病態学)が、「心臓血管病の再生医学」の題で講演を行い、今話題のiPS細胞やMuse細胞などを使った最先端の再生医学の話に百六十名の聴衆が熱心に耳を傾けた。



講演会

湊口氏は、講演の初めに自身が岐阜大学に

十月二十八日(日)午後五時三十分より、新宮信用金庫五階大ホールにおいて、平成二十四年度新宮高等学校同窓会総会・講演会・懇親会が親会が開催された。総会では、夏山晃一同窓会長、七瀧高至学校長の挨拶の後、堀起佳副会長を議長として議事に入った。大谷貴彦事務局長からの事業報告、寺澤孝史会計からの会計報告、小倉正人監査からの監査報告がなされ、それぞれ承認された。小憩後、湊口信也教授(新宮高校第二十三回卒業・岐阜大学医学部附属病院循環器内科第二内科・岐阜大学大学院医学系研究科循環病態学)が、「心臓血管病の再生医学」の題で講演を行い、今話題のiPS細胞やMuse細胞などを使った最先端の再生医学の話に百六十名の聴衆が熱心に耳を傾けた。

「授業では、自分の座右の銘のことを学生によく話す。漢文の講義も時々行う。昌平坂学問所の総長を務めた岐阜岩村藩出身の佐藤一斉には、佐久間象山や横井小楠、渡辺華山など多くの門下生がいた。彼は西郷隆盛や吉田松陰、勝海舟など維新に大きな貢献をした人に大きな影響を与えた。私



総会

が特に感激したのは「三学戒」。「少(わか)くして学べば壮にして為すあり。壮にして学べば老いて衰えず。老にして学べば死して朽ちず。」特に最後の「老にして学べば死して朽ちず」という言葉は佐藤一斉の意気込みが伝わってきて最初これを聞いたときに感じる所があった。「三学戒」以外にも「確乎不拔の志」というのが出来るない志を若い人たちが持つべきである」という意味である。循環器学会でお会いした今年百才を超える日野原重明先生は、常に年をとっても勉強を忘れない、まさに「三学戒」の



「再生医療を行う細胞にはいろいろある。まず、何にでも分化する細胞であることがわかってきた骨髄細胞の一部の間葉系幹細胞が再生医療に使える可能性が高い。それから血液の中の血管内皮前駆細胞から血管を作ることもできる。それから骨格筋の筋芽細胞等。他にもES細胞、そして今話題のiPS細胞やMuse細胞というものも出てきている。今注目のiPS細胞は、人工多能性幹細胞で二〇〇六年に山中伸弥先生が発表された。細胞は一個の受精卵から分かれてできるが、受精の直後は、身体のあらゆる細胞になる万能性をもつ。しかし、特定の役割を持ち、心筋や脳の細胞になると、もとの状態に戻る初期化はおこらないと考えられていた。山中先生は、四つの遺伝子「Oct、Sox、Klf、c-My」を皮膚の細胞に組み込むことによって、成熟した細胞を初期化し、受精卵に似た状態に持つて行くことができた。これがiPS細胞である。今回ノーベル医学生理学賞が決まったが、難病のしくみの解明、新薬の開

「再生医療を行う細胞にはいろいろある。まず、何にでも分化する細胞であることがわかってきた骨髄細胞の一部の間葉系幹細胞が再生医療に使える可能性が高い。それから血液の中の血管内皮前駆細胞から血管を作ることもできる。それから骨格筋の筋芽細胞等。他にもES細胞、そして今話題のiPS細胞やMuse細胞というものも出てきている。今注目のiPS細胞は、人工多能性幹細胞で二〇〇六年に山中伸弥先生が発表された。細胞は一個の受精卵から分かれてできるが、受精の直後は、身体のあらゆる細胞になる万能性をもつ。しかし、特定の役割を持ち、心筋や脳の細胞になると、もとの状態に戻る初期化はおこらないと考えられていた。山中先生は、四つの遺伝子「Oct、Sox、Klf、c-My」を皮膚の細胞に組み込むことによって、成熟した細胞を初期化し、受精卵に似た状態に持つて行くことができた。これがiPS細胞である。今回ノーベル医学生理学賞が決まったが、難病のしくみの解明、新薬の開

「最後にMuse細胞について、Muse細胞とは、第三の多能性幹細胞で、この細胞を用いた心筋再生による心不全治療法の開発を岐阜大学循環器内科で行っている。これは東北大学の出沢真理教授が実験の中で偶然発見したもの。実験とは思いつきにないときにヒントがある。皮膚の繊維芽細胞に山中四因子をいれるとiPS細胞ができるが、その中のシミックは癌遺伝子なので、基本的にiPS細胞は癌になる。だ

(二面へ続く)



同窓会会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は、同窓会活動に対し、絶大なご支援とご協力を賜りますこと、厚く御礼申し上げます。同窓会報「磐盾」も今回で四十号となりますが、これも偏に会員皆様をはじめ本学教職員の皆様方のご協力あつてのことで、深く感謝申し上げます。さて、同窓会の活動状況をご報告させて頂きま

三年連続の同窓会バザーを出店させて頂きました。又、体育祭での綱引きへの参加や、恒例の熊野古道ロングハイキングへの参加など、在校生との交流を深めてまいりました。また、十月二十八日には総会と併せて二十三回卒業の岐阜大学医学部教授の湊口信也氏をお招きし、記念講演会を開催させて頂きました。湊口氏からはiPS細胞に続く第三の多能性幹細胞と言われる「Muse(ミューズ)細胞」の研究などに取り組んでいるなど、

大変貴重なお話を頂き、ありがとうございました。その後、懇親会へと移り先輩・後輩の交流を図ることができました。ご参加頂きました皆様に御礼を申し上げますと共に、湊口氏の今後のますますのご活躍を祈念しております。今年に入り、大阪の市立高校で体罰による生徒の自殺という大変痛ましい事件がおこりました。中学・高校・大学。それぞれ段階が違いますが選手が伸びるかどうかは指導者次第ともお聞きしております。又、どれだけ必死にならせられる

か、どれだけ厳しい練習に耐えることができるのか、すべてとお聞きします。その過程でおこった体罰という問題、時間がかかるかもしれないませんが指導者である教員と生徒達がもっと信頼関係を築きあげることがもっとも重要になってくるのではないのでしょうか。今年一月 史上初、ラグビー大学選手権で第二十八回卒の岩出雅之監督が率いる帝京大学ラグビー部が四連覇の偉業を成し遂げました。心よりお祝い申し上げます。岩出監督は「挨拶、掃除、規律」を重んじ、生徒に最高の目標を与えないこと、目標は可視化でき無理せず根気強く計画性をも

って取り組む必要があることという「七割の法則」で練習しているとのこと。この教育方針が信頼関係を構築し、四連覇に繋がったと思います。今、問題となつていて体罰解決に向けてとても参考になるのではないのでしょうか。同窓会には、各界でご活躍されている多くの同窓生がいます。このネットワークは本当に貴重なものであると思います。皆様方の情報交換の場として、後輩である在校生たちに様々な応援ができる会でありたいと願っております。今後とも同窓会活動へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせて頂きます。

## ご挨拶

同窓会会長 夏山 晃





平成24年度総体の結果

|           |                                                                                                                                |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ●近畿大会出場   |                                                                                                                                |
| 陸上競技部     | 女子100m・200m=前田祐里(3-1)(準決勝進出)、女子走り幅跳び=小畑南帆(1-1)(予選落ち)                                                                           |
| ハンドボール部   | 男子、女子                                                                                                                          |
| ソフトテニス部   | 女子団体                                                                                                                           |
| 剣道部       | 女子団体                                                                                                                           |
| 弓道部       | 野地恵実(3-6)                                                                                                                      |
| 卓球部       | 女子団体、男子ダブルス=谷口幸広(2-4)・楠本航也(2-2)、女子=名古屋香(3-3)                                                                                   |
| レスリング     | 60Kg級 川内賢太郎(2-5)                                                                                                               |
| ●県予選結果報告  |                                                                                                                                |
| 空手道部      | 男子／団体組手=準優勝 女子／団体組手=1回戦負け<br>男子／個人組手=ベスト16 上田倫大(2-3)、和田泰弘(3-1)、中納拓海(3-6)                                                       |
| 弓道部       | 女子／個人組手=ベスト8 大石彩日香(3-2)、塩崎紗希(1-5)                                                                                              |
|           | 女子／団体=第5位、個人=第5位 野地恵実(3-6)(近畿大会出場)                                                                                             |
| ソフトテニス部   | 男子／団体=予選リーグ負け、個人=星山圭基(3-7)1回戦負け、清原海樹(3-1)、南準太(2-6) 2回戦負け                                                                       |
|           | 女子／団体=ベスト8(近畿大会出場)、個人=浅利知波瑠(2-5)、星山亜美(1-1)、清原沙莉(1-2)、下岡未来(1-2) 1回戦負け                                                           |
| 卓球部       | 男子／団体=3回戦負け、個人=石田季楽(2-6)、山門久晃(2-3)ベスト64                                                                                        |
|           | 女子／団体=準優勝(近畿大会出場)、個人=谷口あすか(2-2)、林真衣佳(3-1)、崎上野真子(3-2)、西春花(3-4) ベスト32                                                            |
| 軟式野球部     | 男子／団体=3回戦負け、ダブルス=谷口幸広(2-4)・楠本航也(2-2) ベスト4(近畿大会出場)、シングルス=谷口幸広(2-4)ベスト16(近畿大会出場)                                                 |
|           | 女子／団体=ベスト4(近畿大会出場)、ダブルス=ベスト16 峯真子(1-3)・井野真萌(1-5)(近畿大会出場)、シングルス=ベスト16 名古屋香(3-3)(近畿大会出場)                                         |
| ハンドボール部   | 春季近畿地区予選軟式野球大会 1回戦 対箕島12-3(8回コールド)、準決勝 対向陽9-0(7回コールド)、決勝 対南部2-3(延長10回) 準優勝                                                     |
|           | 男子／1回戦 対和工(34-19)勝ち、2回戦 対桐蔭(37-34)勝ち、準決勝 対紀北農芸(14-54)負け、敗者戦 4回戦 対向陽(26-21)勝ち、順位決定戦 対粉河(14-27)負け 第3位(近畿大会出場)                    |
| バスケットボール部 | 女子／準決勝 対粉河(16-28)負け、敗者戦 1回戦 対耐久(24-8)勝ち、順位決定戦 対那賀(18-15)勝ち 第3位(近畿大会出場)                                                         |
|           | 男子／1回戦=対海南(65-77)負け                                                                                                            |
| バレーボール部   | 女子／1回戦=対南部(57-69)負け                                                                                                            |
|           | 女子／予選リーグ 対和歌山北(0-2)負け 対桐蔭(2-0)勝ち、決勝リーグ 対熊野(0-2)負け                                                                              |
| バドミントン部   | 男子／団体=ベスト8、ダブルス=男子 ベスト8 向井良(2-1)・飯田歩(2-3)                                                                                      |
|           | 女子／団体=ベスト4、ダブルス=女子 ベスト8 鳴戸明日香(3-3)・萩原麗実(3-2)、南麻乃(2-3)・中西愛美(2-3)                                                                |
| 陸上競技部     | 男子／走り幅跳び 第11位(6m05) 塚 遥(3-6)                                                                                                   |
|           | 女子／100m 第2位(12'39)前田祐里(3-1)(近畿大会出場)、200m 第3位(25'81)前田祐里(3-1)(近畿大会出場)、走り幅跳び 第6位(5m08)小畑南帆(1-1)(近畿大会出場)、女子4×400mリレー 第8位(4'18'62) |
| ラグビー部     | 1回戦 対田辺(14-31)負け ベスト8                                                                                                          |
|           | 1回戦 対海南(1-2)負け                                                                                                                 |
| サッカー部     | 個人戦 55Kg級 仁木龍登(1-5) 第6位、60Kg級 川内賢太郎(2-5) 第6位(近畿大会出場)                                                                           |
|           | 個人戦 55Kg級 仁木龍登(1-5) 第6位、60Kg級 川内賢太郎(2-5) 第6位(近畿大会出場)                                                                           |
| 硬式野球部     | 春季近畿地区高校野球 予選 1回戦 対慶風8-1、2回戦 対神島3-2、準々決勝 対那賀3-13 ベスト8                                                                          |

平成24年度夏季以降の結果

|           |                                                                                                                                                   |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 陸上競技部     | 女子／第45回和歌山県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会 女子1年 走り幅跳び 小畑南帆(1-1) 5m18=第1位、女子1年 400m 小畑南帆(1-1) 1'01"69=第2位                                                       |
|           | 男子／第45回和歌山県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会 男子2年 やり投げ 高健祐(2-4) 42m92=第3位                                                                                        |
| 硬式野球部     | 女子／第45回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会 女子1年 走り幅跳び 小畑南帆(1-1) 5m12=第8位                                                                                         |
|           | 第94回全国高等学校野球選手権和歌山大会 1回戦 対紀北工業1-2 負け                                                                                                              |
| 軟式野球部     | 平成24年度県下高校野球新人戦 2回戦 対熊野7-6 勝ち、3回戦 対有田中央1-2 負け                                                                                                     |
|           | 平成24年度 秋季近畿地区高校野球 県一次予選 2回戦 対市立和歌山3-12 負け                                                                                                         |
| サッカー部     | 第57回全国高等学校軟式野球選手権大会和歌山県予選 準決勝 対向陽7-0、決勝 対南部2-3 準優勝                                                                                                |
|           | 平成24年度和歌山県高等学校軟式野球新人戦大会 準決勝 対南部2-1、決勝 対耐久1-0 優勝(近畿大会出場)                                                                                           |
| ラグビー部     | 平成24年度秋季近畿地区高等学校軟式野球大会 2回戦 対天理5-0、準決勝 対龍谷大平安4-1、決勝 対浪速2-0 優勝                                                                                      |
|           | 第91回全国高等学校サッカー選手権大会和歌山大会 2回戦 対紀北工業4-1、3回戦 対初芝橋本0-5 ベスト16                                                                                          |
| ソフトテニス部   | 第91回全国高等学校ラグビーフットボール選手権大会和歌山大会 1回戦 対和歌山北西48-12、2回戦 対和歌山工業5-42 ベスト8                                                                                |
|           | 女子／夏季大会 個人=ベスト16 谷口あすか(2-2)、道中るか(2-1)                                                                                                             |
| バスケットボール部 | 男子／新人戦大会 団体=3回戦敗退                                                                                                                                 |
|           | 女子／新人戦大会 団体=第3位、個人=ベスト16 谷口あすか(2-2)、道中るか(2-1)、ベスト32 田中葉夕佳(2-2)、岩佐理都(1-2)                                                                          |
| バレーボール部   | 男子／新人戦紀南地区予選 第2位                                                                                                                                  |
|           | 秋季選手権大会 1回戦 対和歌山工業41-79 負け                                                                                                                        |
| バドミントン部   | 新人大大会 対和歌山東113-35 勝ち、対高野山79-62 勝ち、対和歌山北71-93 負け ベスト8                                                                                              |
|           | 女子／秋季選手権大会 1回戦 対粉河52-67 負け                                                                                                                        |
| ハンドボール部   | 新人大大会 対伊都74-34 勝ち、対桐蔭41-63 負け ベスト16                                                                                                               |
|           | 平成24年度選手権大会 1回戦 対貴志川2-0 勝ち、2回戦 対南部0-2 負け 新人大大会 1回戦 対開智0-2 負け、敗者戦 対県和商2-0 勝ち、決勝トーナメント 1回戦 対那賀2-0 勝ち、準々決勝 対熊野0-2 負け ベスト8                            |
| 卓球部       | 女子／第67回国民体育大会和歌山県代表選手権選考会 シングル=南麻乃(2-3)第4位 第31回全日本ジュニア選手権大会和歌山県予選 女子シングル=南麻乃(2-3) 優勝(全国大会出場)                                                      |
|           | 男子／第59回近畿高校選手権大会和歌山県予選 団体=準優勝、ダブルス=飯田歩(2-3)・向井良(2-1) ベスト4、山縣直人(2-2)・福林透真(2-1) ベスト8、シングルス=飯田歩、福林透真 ベスト8、向井良 ベスト12                                  |
| 剣道部       | 女子／第59回近畿高校選手権大会和歌山県予選 ダブルス=南麻乃・中西愛美(2-3) 準優勝 シングルス=南麻乃 準優勝 全日本ジュニア選手権大会 シングルス=南麻乃 1回戦負け                                                          |
|           | 男子／平成24年度和歌山県高等学校ハンドボール新人大大会 1回戦 対和高専32-14 勝ち、2回戦 対市立和歌山34-17 勝ち、準決勝 対紀北農芸8-47 負け、シード順位決定戦 対粉河18-22 負け ベスト4                                       |
| 卓球部       | 女子／平成24年度和歌山県高等学校ハンドボール新人大大会 リーグ戦 対耐久33-7 勝ち、対粉河5-39 負け、対那賀23-8 勝ち、対県和商3-39 負け ベスト4                                                               |
|           | 男子／選手権大会 ダブルス=谷口幸広(2-4)・楠本航也(2-2) ベスト8、シングルス=楠本航也(2-2)、高橋将矢(1-4) ベスト16 新人大大会 団体=ベスト8、ダブルス=谷口幸広・楠本航也 ベスト4、シングルス 楠本航也 ベスト4 近畿大会 団体、ダブルス、シングルス=1回戦負け |
| 卓球部       | 女子／選手権大会 団体=ベスト4、シングルス=瀧谷明李(1-2) ベスト4 新人大大会 シングルス=瀧谷明李 ベスト8 近畿大会 シングルス=1回戦負け                                                                      |
|           | 平成24年度県高校剣道段級別選手権大会 有段の部=清原                                                                                                                       |

新宮高校同窓会の皆様お  
よりごいません。か。  
さて社団法人新中会は新  
宮中学卒業生を会員として  
昭和三十四年より、地方文  
化の向上並びに普及を図る  
ことゝを定款にあげて活動  
して参りましたが、このた  
び法人組織の法改正により  
本年六月より新しく新宮高  
等学校の卒業生の方も参加  
して頂き新たに一般社団法  
人、新中会ゝとして発足す  
ることになりました。  
旧制新宮中学校は明治三  
十四年(一九〇一年)に全  
国中学校数二七二校の中  
で生まれ卒業生三、二二〇  
名のぼっています。ただ、  
新宮中学校同窓会としては  
昭和四十四年八月に新宮高  
等学校同窓会に合併させて  
頂き私達は新宮高等学校の  
同窓会の一員であります。新

会長としましてはなるべ  
く早い時機に新社団法人の  
名称も変更し社団法人、新  
高会ゝとして新宮卒業生の  
皆様に私達の活動を引継い  
で頂けたらと考えておりま  
す。どうぞよろしくお願  
い申し上げます。



九月学校に  
復帰したが、  
校庭の運動  
場はさつま  
芋畑であつ  
たが、さつ  
ま芋の収穫  
後校庭の運  
動場も暫く  
してから、  
復元した。  
十八年以  
来途絶えて  
いた運動会  
や、部活(野  
球・サッカー  
・バレーボ  
ール・陸上・

特に新中四十三回生は、  
何かにつけて結束力が強く、  
本当に頼りになる同志で、  
素晴らしい仲間である。  
元氣であれば、また誰か  
が手をあげて再会の音頭を  
取ることを期待して散会し、  
帰途についた。



|          |                                                                                         |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 弓道部      | 沙莉(1-2) ベスト8、1級の部 浅利知波瑠(2-5) 3位                                                         |
|          | 男子／選手権大会 個人=雑賀翼(2-2) 第2位 近畿大会 個人=雑賀翼(2-2) 第8位 新人戦 団体=第3位、個人=碓文弥(1-6) 第4位、塩地航大(2-2) 第7位  |
| 空手道部     | 女子／新人戦 団体=第5位、個人=藤原未来(1-6)優勝(全国大会出場)                                                    |
|          | 新人大大会 組手 個人の部=上田倫大(2-3) 2位、間所澁貴(1-1) 4位                                                 |
| レスリング同好会 | 平成24年度和歌山県高校レスリング選手権大会 フリースタイル 55kg級=仁木龍登(1-5) 3位、60kg級=川内賢太郎(2-5) 3位、96kg級=森大樹(1-4) 3位 |
|          | 平成24年度和歌山県高等学校レスリング新人戦 個人対抗戦 55kg級=仁木龍登(1-5) 3位、84kg級=森 大樹(1-4) 3位                      |

平成24年度文化クラブ成績

|           |                                                                                      |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 書道部       | 第64回県下高等学校書初会                                                                        |
|           | 特 選=中村学行(2-5)、西村百花(1-1)、中居日向子(1-2)、山本真帆(1-2)、前 礼美(1-3)、太田佑真(1-6)、尾崎敏郎(1-6)、山下依世(1-6) |
| 美術部       | 準特選=中 はるな(2-1)、岸下真夕(2-2)、鈴木千明(2-2)、井辻花葉(2-3)、村上夕芽(2-3)、中村七奈子(1-4)、宮本有華(1-5)          |
|           | 第33回近畿高等学校総合文化祭三重大会出品(来年度) 鈴木千明(2-2)                                                 |
| 吹奏楽部      | 第37回全国高等学校総合文化祭長崎大会出品(来年度) 中村学行(2-5)                                                 |
|           | 第27回WELOVEトンボ 絵画コンクール 銅賞=武内友香(1-6) 「スチール缶リサイクルポスター」コンクール 佳作=三栖若菜(2-1)                |
| E S S 合唱部 | 第41回和歌山県アンサンブルコンテスト                                                                  |
|           | 打楽器三重奏・金管六重奏 県大会出場                                                                   |
| E S S 合唱部 | 第32回近畿高等学校総合文化祭 英語部門=優秀観客賞                                                           |
|           | 第32回近畿高等学校総合文化祭紀南地区予選 出場                                                             |



新中会会長 山口博正

ご挨拶

平成二十四年四月十七日、開催した。  
宇久井 休暇村南紀勝浦で  
「新中四十三回有志会」を  
厳しい昭和十八年四月に新

新中四十三回有志会

宮中学校に  
入学し、昭  
和二十年八  
月終戦の時  
は、新中三  
年生で学徒  
動員が解か  
れ約半年振  
りに学園に  
帰った。  
この年の  
九月学校に  
復帰したが、  
校庭の運動  
場はさつま  
芋畑であつ  
たが、さつ  
ま芋の収穫  
後校庭の運  
動場も暫く  
してから、  
復元した。  
十八年以  
来途絶えて  
いた運動会  
や、部活(野  
球・サッカー  
・バレーボ  
ール・陸上・

体操・バスケット・庭球・  
相撲等)が復活し活動を開  
始した。  
特に部活の復帰には「我  
ら四十三回生が中心になっ  
て活躍しその後の新高の基  
礎になった事だろう!!」な  
ど、宴会の話題になった。

体育祭



彩雲祭

同窓会物品バザー

彩雲祭二日目の  
六月十六日、恒例  
の同窓会物品バザ  
ーを実施しました。  
多くの方のご協力  
により、一三七、  
四八〇円の売り上  
げがありました。  
収益金は、新宮高  
校に寄付されまし  
た。準備・運営に  
ご協力いただきま  
した同窓会員の皆  
様、ありがとうございました。



新高一卒 有志会

「いやー 達者かい!!」  
「元気で、またお逢いでき  
たね!!」 久方振りに再会し  
た八十路を過ぎた私達、新高  
一卒の出会ひの挨拶でした。  
昭和二十四年三月、新宮  
高校第一回生で卒業した我  
々は、今日(平成二十四年  
六月九日) ホテル浦島 日  
昇館で、十六名が『新高一  
卒 有志会』を開催しました。  
『新高一卒 有志会』と  
名付けた意味は、幹事が頭  
を悩ました問題点でした。  
平成五年『新高一卒会』と  
して発足し、毎年継続して  
開催してきましたが、年齢  
アップと共に参加者も段々  
減少し、平成二十一年六月  
に開催した『新高一卒会』  
で、卒業後満六十年目の節  
目の年であったので、今回  
で最終回にすると云うこと  
で、ホテル 中の島で盛大  
に開催しましたが……?  
今年の二月、「もう一度、  
新高一卒生の仲間同志、お  
逢いたいね。」と強い願望  
の声があり、『新高一卒会  
有志会』の名前にして開  
催することにしました。  
例えば、私達 新高一回  
生は、戦時体制の昭和十八  
年に旧新宮中学校 また、  
新宮高等女学校にそれぞれ



入学し、戦局悪化に伴い学  
徒動員として、新女三年生  
(第三十九回) は和歌山へ、  
また一部の新女と新中三年  
生は地元の王子製紙と佐野  
のバルブ(巴川製紙)へ動員  
に従事しました。  
戦後、昭和二十年八月に  
学校に戻りましたが、グラ  
ンドには甘薯が栽培されて  
いました。昭和二十三年、  
学制改革により新中四十三  
回生(昭和二十三年 旧新  
中五年卒業生) 新宮高女三  
十九回生(昭和二十二年  
新宮高女四年卒業生) あわ  
せ三七〇余名の人々は、二  
十三年旧制で卒業、そのま  
ま卒業を終えるか、新制高  
校普通科三年に編入するか  
の選択肢がありました。そ  
のうち三分の一強の一三四  
名が、新制高校普通科に編  
入の道を選び、翌年昭和二  
十四年三月、新高第一回生  
として卒業しました。  
また、二十三年新工卒業  
生の一部は、新高土木科、  
建築科の一回生として卒業  
しました。以上のように今  
では、想像できない学制改  
革の移行時代でした。  
一度、取り止めた『新高  
一卒会』は、どうにか息を吹  
き返し『新高一卒有志会』  
の名前で復活したの  
です。不死身の新高  
一回生です。何時ま  
で続くのか?  
宴会では、六十四  
年前の青春に返り、  
お互いの懐かしい想  
い出話や、当時の出来  
事など、走馬灯の様に  
駆け廻り時間を忘れ  
て語り合いました。  
初めての男女共学  
一年間の学生生活が、  
八十路の今でも鮮明  
に記憶として蘇った  
一日でした。元氣な  
らば、また翌年の再  
会を祈願して解散し  
ました。

第十四回卒業生同窓会盛大に!

—124名が出席 ホテル浦島にて—

第十四回卒業  
生同窓会は古希  
を迎え十一月十  
日、浦島  
ホテルで  
一二四名  
が出席し  
盛大に行  
われまし  
た。  
集合写  
真を撮り、  
六時から  
の開会で  
黙祷、祝  
舞(中山  
八重子さ  
ん)、クラ  
ス紹介な  
ど、たの  
しいひと  
ときを過  
ごしまし  
た。卒業  
して、す



普通科1~5組



普通科6~8組・商業科1~4組・土木科1組

昭和四十二年(第十九回)  
卒業生同窓会開催される  
—剰余金を本校へ寄附—

さる十一月二十三日(金)  
勤労感謝の日)に新宮市中央  
通のユーアイホテル「平安  
の間」午後六時~九時にお  
いて、同窓会が開催されま  
した。今回は、丁度四年前  
の平成二十年十一月二十三  
日に開催した第一回目の還  
暦を祝う同窓会に続く第二  
回目の再会となります。卒  
業後四十五周年の節目の年  
にあたります。私たちは、  
団塊の世代で普通科十クラ  
ス、土木・建築各一クラス  
でした。母校の会議室をお  
借りし、各クラス世話役  
による準備会を五回重ねまし  
た。事務局は、卒業当時の  
三年六組が担当しました。  
当日の出席者は、同窓生九  
九名、恩師の先生二名の一  
〇一名。世話人代表山門隆  
久(六組)が、木造校舎の時  
代と恩師の授業の懐かしい  
思い出にふれ、母校の昨年  
創立一一〇周年、新宮高校  
の一・二年の現状と少子化  
による来年度の一クラス定

員減、さらに昨年の水害の  
状況をふりかえり、自助・  
共助による助け合いのなか  
で我々の年代でもまだまだ  
がんばりましょうとの激励  
のメッセージを送り、高校  
時代に戻りしばし大いに楽  
しみましようと呼びかけ  
た。その後、昨年被災した  
紀伊水害のDVDを上映し、  
谷洋一君(八組)の乾杯と続  
きました。恩師の土井清司  
先生(五組担任)、藤重豊先  
生(二組担任)の挨拶  
と同窓生による花束  
贈呈が行われました。  
立食による祝宴に入  
り、その間、友情を  
深めあいました。現  
在の新宮高校の年間  
行事をDVDに録画  
し、整理した校舎と  
後輩達の文化・クラ  
ブ活動の様子を紹介  
・上映しました。司  
会者大嶽勝司君(七  
組)による福引景品  
の発表があり、会場



平成24年度関東新中会 2012年10月14日 於 アルカディア市ヶ谷(旧私学会館)

平成二十二年  
度からは会長  
として文字通  
り先頭にたっ  
ていた渡邊朝  
郎氏が自ら強  
く、退任を希  
望された意を  
うけて、今年  
度新たに、新  
中第三十八回  
卒業の尾崎公  
氏が推挙され  
その任につい  
た。氏は、日  
本大学歯学部  
に学び、さら  
に東京大学解  
剖学教室、オ  
ーストラリア  
アデレード大  
学に留学等、  
研究を重ねて  
日本大学歯学  
部教授、同大

冒頭、渡邊会長からの退  
任の辞、新会長の紹介を含  
む挨拶があり、尾崎氏の就  
任挨拶があつて、総会が始  
まった。そして先ず、この  
関東新中会の本家筋ともい  
うべき、「社団法人・新中  
会」の山口博正会長、続い  
て、大阪からの関西新中会  
・宇井規会長、新宮高等学  
校同窓会・夏山晃一会長、  
新宮高等学校・七瀬高至校  
長、同・大谷貴彦教諭が、  
それぞれの立場からの挨拶  
や報告を行った。  
特に、「社団法人・新中会」  
は、「新中林」という山林を  
保持・管理している関係も  
あつて、このたびの法律改  
正により、法人格を変えね  
ばならない節目に当つてお  
り、その対処の先頭に立つ  
山口会長をはじめ役員の苦  
労は大きい。また、従来か  
ら名門といわれた、旧制学  
校時代の伝統をいかに伸長  
させるかと努力している七  
瀬校長の意気込みもよく伝  
わってきた。  
以上、各来賓のメッセー  
ジが終つて、榎本貢幹事の  
総務・会計報告、久保倫生  
幹事の監査報告等があつて、  
古角又男幹事の総合同会に  
よる懇親会に移ったがその  
前に、写真スタジオでの全  
員撮影が行われた。  
懇親会の冒頭、新高二十  
三回卒業の音楽家矢口周美  
さんが、夫であり、オカリ

ナという珍しい楽器の奏者  
である黒坂黒太郎氏と共に、  
二人で作詞作曲した「新宮  
の街を」他数曲を演奏して  
幕があいた。そして新中第  
三十七回卒業の竹内繁清氏  
の乾杯の音頭でお互いの多  
幸をよるこび祈り合い、誰  
はばかりのこたない、新宮  
辯や紀南訛りの渦があちこ  
ちで巻くようになった。  
やがて、新中・新高女・  
新高の卒業生によるそれぞ  
れの校歌がうたわれて、今  
年度の関東新中会は終わった。  
出席者は次の八十二名で  
あつた。  
〈来賓〉  
山口博正、宇井規、夏山  
晃一、七瀬高至、大谷貴彦  
小野俊二  
〈新中卒業生(卒業年次順)〉  
渡邊朝郎(顧問)、竹内繁  
清、尾崎公(会長)、塩崎展  
央、田代均(幹事)、藤本喜  
平、宮戸保、玉置広親、小  
坂博康、清水侃、奥野幸導、  
東昭、久保倫生(幹事)、古  
角又男(幹事)、正木健雄、  
吉田太一、筒井増男、大石  
通明、鈴木富三  
〈新高女卒業生(卒業年次順)〉  
鈴木みさ子、宮前文代、  
宮戸富子、村上登久江、日  
下和子、坂本欣子、杉本郁  
子、玉置昭代、坪井英子、  
渡邊清子、小川美栄子、尾  
崎民代、土佐睦恵、平間誠  
子、源馬博子  
〈新高卒業生(卒業年次順)〉  
門崇、赤松郁代、角隆平、  
森弘明、竹田博美、宇井久  
小林洋子、高木明子、宮本  
哲哉、由比五男、尾崎啓、  
下川良子、田中穂、野村和  
子、大前卓也、岸偉作、西  
秋男、崎本渡二、青木英輔、  
濱口逸雄、斎藤昌江、大下  
勝巳、中口雅文、大久保幸  
枝、山下雅行(幹事)、森田  
皓誠、三木よし子、石垣時  
彦、榎本貢(幹事)、小久保  
泰宏(幹事)、榎本善行、湖上  
敬、森本剛史、城和生(幹  
事)、矢口周美、黒坂黒太郎、  
榎本滋、榎本恭子、鈴木鉄  
士、倉本秀彦、國見一郎、  
國見京子

平成二十四年度  
関東新中会

—東京で年にいちど新宮辯や  
紀南訛りが飛び交う—

毎年恒例になっており、  
本紙でもその都度紹介され  
ている「関東新中会」が、  
今年も去る十月十四日に開  
催された。  
旧制・和歌山県立新宮中  
学校(新中)、同新宮高等女  
学校(新高女)、新制・新宮  
高等学校(新高)に学んだ者  
で、東京及びその周辺に在  
住している人々が年にいち  
ど、皇居に程近い、東京・  
市ヶ谷の私学会館に集まる  
のである。  
この会、元々は、戦前、  
新中卒業生で東京に遊学し  
ていた学生たちが、修学旅  
行で東京にくる後輩たちを  
歓迎しようと集まっていた  
のを起源とする、と言われ  
ているが、戦後、第八回卒  
業ですでに実業界で活動し  
ていた、佐々木棟太郎氏等  
が中心となってこれを組織  
化し「東京新中会」として  
発足、毎年、定期的に開催



学校戸歯学部長等を歴任、  
それら学問研究上の実績に  
より、勲三等旭日中綬章の  
栄も受けている。

新高第二十三回卒業還暦記念同窓会

笑いあり、涙ぐむ人あり…

—新宮ユーアイホテルに集う平成二十五年二月一日—

本年一月二日、「新宮ユーアイホテル」にて二十三年生（七十一）卒業の還暦を記念する同窓会を開きました。

遠くはマイアミ、北海道、九州、四国から九六名の同級生と恩師田所顕平先生の参加を得ました。

残念ながら、もう一人北海道から来る予定の仲間の仕事の都合で、奄美からの参加を予定していた仲間と四国在住の空岡正子先生は直前に体調を崩されたよう

で来れなくなりました。

予定時刻の十二時半「ふるさと」「卒業写真」二曲をみながら斉唱し、会がスタートしました。二時間五分という短い時間なので、近況報告はやめました

が、司会のH.T.K.の機転で出席を取って参加者の紹介に代えました。

乾杯の後少し経ち、参加者を代表し、コカリナの新宮黒太郎さんと一緒に全国をはじめ外国にも招待されたりと活躍中の矢口周美さんの美しく優しい声の唄を聴き、「ヤマネミュージ

アム」館長で関西学院大学教育学部教授の湊秋作さんの「ヤマネ」にまつわる楽しい話を聞きました。湊くんは、自身でPCとプロジェクターを用意し映像を交えた説明をしてくれました。

その後の楽しい歓談の時間はほとんど過ぎて、あっという間に終わりの時間が来てしまいました。最後には記念撮影をして、会を閉じました。

笑いあり涙ぐむ人あり、実に充実した再会ができましたと喜ぶ人ありの同窓会となりました。「五年後またやろう。」という声もありました。

この後は、それぞれの仲間同士で二次会三次会とまた盛り上がったと聞きました。

数日経って、尾鷲に住むU.S.さんから「紀勢新聞」が届きました。そこには、彼の作った句がたくさん載せられていました。その中から、いくつかを紹介します。

「還暦と 言えど青春 龍の玉」

「友集う 心に独楽と

手毬持ち」

「福寿草 恩師の若き 嬉しくて」

「柔らかに 堅琴を抱く 弾始」(周美さんを詠む)

「級友や 冬眠鼠を語る ととき少年」(湊くんを詠む)

また先日、マイアミから参加してくださったKMさんから次のようなメールをいただきました。

「人生の大きな節目となる還暦同窓会に出席させていただきます。心より御礼申し上げます。

大勢の同窓生にお会いでき会話しながらとても懐かしく感激いたしました。

又、まだまだ現役で頑張っている皆様にもパワーを頂き、私もまだ頑張らなくてはと励みにもなりました。出席できて本当によかったです。」

最後に、参加してくれたみなさんとクラスごとに参加受付をしてくれた世話人の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

「昨日の台風十二号はわれわれのふるさとを襲い多数の尊い命を奪い甚大な被害をもたらしました。犠牲になられた方を悼み被災者にお見舞い申し上げます。これからの復興、復旧には困難も多くあると思います。が、こんなときこそ、絆が大切であります。お互いに同じ故郷という強い絆で結ばれている仲間として少しでも故郷の復興のお役にたつことができたかと思っ



新宮高校第33回卒業生同級会

～200名の同級生と7名の恩師が集う～

平成二十五年一月三日、ほとん



長に挨拶のあと、物故者の名前を読み上げ黙祷。そして切畑屋伊和男実行副委員長



と、指名により再び山縣実行委員長が登壇。ご参集くださった恩師と同級生、そしてクラス幹事の皆さんに感謝の言葉を申し上げ、「また十年後に集まろう」という約束と共に、同級会を結びました。



写真・紀南新聞社提供

新宮中学・新宮高女・新宮高校

新宮三校同窓会関西支部総会

ふるさとへの強い「絆」を

「昨秋の台風十二号はわれわれのふるさとを襲い多数の尊い命を奪い甚大な被害をもたらしました。犠牲になられた方を悼み被災者にお見舞い申し上げます。これからの復興、復旧には困難も多くあると思います。が、こんなときこそ、絆が大切であります。お互いに同じ故郷という強い絆で結ばれている仲間として少しでも故郷の復興のお役にたつことができたかと思っ

新宮三校（新宮中・新宮高女・新宮高）同窓会関西支部の平成二十四年総会は関西在住者（新宮を含む）に加え、東京、中部、四国、九州からの参加者を含め一〇一名が参加し五月二十六日ホテル・アウィーナで開催された。

催、冒頭新宮三校の物故者の慰霊と共に台風十二号の犠牲者にも黙祷を捧げた。宇井規代表の挨拶に続き来賓の山口博正新中会長、渡邊朝郎新中会関西支部長、夏山晃一新宮高同窓会長より現状の説明と洒落な話術の祝辞を頂き七瀬高至新宮

高校長よりのメッセージ（代読 大谷貴彦新宮高教諭）大谷教諭より新宮高の現状報告、濱口満さん（新中四十二回）から会計報告がそれぞれなされた。

演奏、宮前文代さん（新高女三十四回）坂口三身さん（新高六回）脇地駿（新高七回）のリードで合唱が始まり「ふるさと」（一番）「鯉のぼり」「茶摘み」「夏の思い出」「我は海の子」と続いた。最後に「ふるさと」（二・三番）を合唱。台風十二号で傷ついた故郷の山河を偲び友や知人の悲無きを祈り、一日も早い復興を願い、ふるさとへの強い「絆」の想いを込めた歌声が星月のなごみから懐かし

の想いが胸をよぎって届くとばかりに全員熱唱した。

（追記）伊藤桂夫氏（前 新宮三校同窓会関西支部代表）が一月七日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。（新宮三校同窓会関西支部一同）

